The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	蜂矢真郷教授略歴・論著目録
Author(s)	
Citation	語文. 2010, 92-93, p. 109-118
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/69143
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

蜂矢真郷教授略歴

一九四六年八月二六日　岐阜県（現、本巣市）に生まれる。

〈学　歴〉

一九六五年三月　奈良女子大学文学部附属高等学校卒業
一九六五年四月　京都大学文学部入学
一九六九年三月　同　卒業（文学科国語学国文学専攻）
一九七一年四月　同志社大学大学院文学研究科修士課程入学（国文学専攻）
一九七四年三月　同　修了（同）［文学修士］
一九七一年四月　大阪大学文学部聴講生（一九七二年三月まで）
一九九六年一二月　博士（文学）（大阪大学）

〈職　歴〉

一九七五年四月　私立親和女子大学（現、神戸親和女子大学）専任講師（一九七九年三月まで）
一九七九年四月　同　助教授（一九八二年三月まで）
一九八二年四月　私立帝塚山学院大学（文学部）助教授（一九八七年三月まで）
一九八七年四月　国立奈良女子大学文学部助教授（一九九一年三月まで）

一九九一年四月　国立大阪大学文学部助教授　（一九九六年二月まで）
一九九六年三月　同　文学部教授　（一九九九年三月まで）
一九九九年四月　同　大学院文学研究科教授　（二〇〇四年三月まで）
二〇〇四年四月　国立大学法人大阪大学大学院文学研究科教授　（二〇一〇年三月、定年退職予定）

〈受　賞〉

一九九八年一一月　第一七回新村出賞

〈非常勤講師歴〉

私立洛南高等学校、京都府立洛北高等学校定時制、帝塚山学院大学（文学部）、奈良女子大学文学部・大学院文学研究科［修士課程］、関西学院大学文学部、京都府立大学文学部、同志社大学文学部、〔神*戸〕松蔭女子学院大学文学部、〔京**都〕光華女子大学文学部・大学院文学研究科［修士課程］、徳島大学総合科学部、京都大学文学部・大学院文学研究科、島根大学法文学部、九州大学大学院人文科学研究院・人文科学府、姫路獨協大学大学院言語教育研究科［修士課程］、東京大学大学院人文社会系研究科・文学部　（*在任中に大学名に「神戸」が加わる）（**在任中に大学名に「京都」が加わる）

〈学会等役員〉

国語学会〔→日本語学会、二〇〇四年四月より学会名改称〕
編集委員・大会運営委員（一九九四年七月～一九九八年五月）、評議員（二〇〇〇年四月より現在に至る）、常任査読委員（二〇〇四年五月～二〇〇七年五月）

訓点語学会

委員（二〇〇三年一一月より現在に至る）、会計監査委員（二〇〇六年度）

萬葉学会

編輯委員（一九七九年一二月より現在に至る）、編輯委員長（一九八八年四月～一九九〇年七月）、代表（二〇〇九年四月より現在に至る）

国語語彙史研究会

委員（一九八九年四月～二〇〇一年三月）、編集主任（一九九八年一二月～二〇〇二年三月、二〇〇六年四月～二〇〇七年三月）、幹事（二〇〇一年四月より現在に至る）、代表幹事（二〇〇一年四月より現在に至る）

国語文字史研究会

委員（二〇〇二年四月～二〇〇八年三月）、編集主任（二〇〇五年九月～二〇〇九年五月）、代表（二〇〇八年四月より現在に至る）

蜂矢真郷教授論著目録

〈著　書〉

国語重複語の語構成論的研究　一九九八年四月　塙書房
国語派生語の語構成論的研究　二〇一〇年三月　同
古代語の謎を解く　二〇一〇年三月　大阪大学出版会

〈論　文〉（☆印は改稿して『国語重複語の語構成論的研究』所収、★印は改稿して『国語派生語の語構成論的研究』所収）

☆語の文法的構成　――畳語について――　一九七四年一二月　「萬葉」八六号
☆形状言の重複の一形態　一九七六年二月　「親和国文」一〇号
ワラフとエム　――類義語の一側面――　一九七六年一〇月　「親和女子大学研究論叢」九・一〇号
複合名詞の前項　――倭名類聚抄の地名を中心として――　一九七七年四月　「国語国文」四六巻四号
動詞ツクをめぐる語群　（一九七七年五月　濱田教授退官記念『国語学論集』（中央図書出版社）にも所収）
☆一部重複と縮重複　一九七八年一月　「親和国文」一二号
対義語ヒロシ・セバシとその周辺　一九七八年三月　阪倉篤義氏監修『論集日本文学・日本語』一　上代（角川書店）
ハ（端）をめぐる語群　一九八〇年七月　「萬葉」一〇四号
セバシ（シク活用）覚書　一九八〇年一二月　「親和国文」一五号
一音節被覆形―露出形のアクセント　一九八一年二月　「親和女子大学研究論叢」一四号
――〝金田一法則〟の例外について――　一九八一年二月　「萬葉」一〇七号
☆重複形容詞の構成　一九八一年一〇月　「同志社国文学」一九号
★モドロカス考　――モドルとマダラとの間――　一九八一年一二月　「親和国文」一六号
語末索引について　一九八二年二月　「親和女子大学研究論叢」一五号
――『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿」の試み――

★ケシ・カシイ・カイ
☆重複形状言・重複接尾形状言　一九八三年五月　『同志社国語学論集』（和泉書院）
☆重複形容詞と重複形容動詞　一九八四年二月　「帝塚山学院大学日本文学研究」一五号
☆動詞の重複とツツ　一九八四年三月　「同志社国文学」二四号
☆替語の構成　――情態副詞を中心に――　一九八四年五月　『国語語彙史の研究』五（和泉書院）
和名類聚抄地名の促音・撥音表記　一九八四年一〇月　「ことばとことのは」一集
――佐佐木氏の《短信》に対して――　一九八四年一二月　「国語学」一三九号
☆メク型重複動詞の構成　一九八五年七月　「ことばとことのは」二集
☆重複と接尾　――萬葉集の用例を中心にして――　一九八五年九月　『萬葉集研究』一三集（塙書房）
☆重複形容詞の別形態　一九八六年三月　「叙説」一二号
☆重複動詞とその別形態　一九八六年六月　「ことばとことのは」三集
☆縮重複・一部重複続考　一九八六年七月　「萬葉」一二四号
――合わせて工藤氏に対して述べる――
メク型動詞と重複情態副詞　一九八六年一二月　『国語語彙史の研究』七（和泉書院）
★アキラケシイ　――ケシ・カシイ・カイ続考――　一九八七年二月　「帝塚山学院大学日本文学研究」一八号
★カ・ク・ケシ　一九八七年一〇月　「叙説」一四号
☆重複サ変動詞の構成　――動詞の重複続考――　一九八七年一一月　「ことばとことのは」四集
播磨国風土記里名「安相」の訓み　一九八七年一二月　「風土記研究」五号
――橋本氏説への疑問――
★日本霊異記訓釈「波リ天」考　一九八八年六月　「訓点語と訓点資料」八〇輯
古語の略語　一九八八年一〇月　「日本語学」七巻一〇号
☆重複情態副詞＋スの構成　――重複サ変動詞続考――　一九八八年一二月　「ことばとことのは」五集
★形容詞語幹＋カ・ヤカ・ラカ　一九八九年三月　「研究年報」（奈良女子大学文学部）三二号
★～＋カの一形態　――語基末がイ列・エ列の場合――　一九八九年一〇月　「叙説」一六号
古代語における和語の構成力　一九八九年一〇月　「日本語学」八巻一〇号

☆軍記物語における動詞の重複　〔二〇〇五年六月　『「日本語学」特集テーマ別ファイル』四　語彙(Ⅱ)（明治書院）にも所収〕

☆ミチミテリ・ミチミチタリ考　〔二〇〇八年七月　『「日本語学」特集テーマ別ファイル　普及版』語彙3（明治書院）にも所収〕

上代語の再構成はどこまで可能か　一九八九年一二月　『国語語彙史の研究』一〇（和泉書院）

ダ行上二段動詞語彙考　一九九〇年五月　「ことばとことのは」六集

★カス型動詞の構成　一九九一年一一月　「国文学解釈と教材の研究」三五巻五号

★ヤカ型語幹の構成　一九九一年五月　「ことばとことのは」七集

造語の変遷と古語・廃語　一九九一年一二月　『吉井巌先生古稀記念論集日本古典の眺望』（桜楓社）

多少と大小　一九九二年五月　「ことばとことのは」八集

☆今昔物語集における動詞の重複　一九九二年五月　「日本語学」一一巻五号

★ク型動詞とグ型動詞（上）　一九九二年七月　吉井巌氏編『記紀萬葉論叢』（塙書房）

「アハレ」の意味の変遷　一九九二年一一月　『国語語彙史の研究』一二（和泉書院）

★ク型動詞とグ型動詞（下）　一九九三年二月　「ことばとことのは」九集

★〜キと〜ギ　〔一九九四年一一月　「言語」二二巻二号

★カ・ク・グ　一九九三年一二月　「歴史読本」三九巻二四号臨時増刊（日本語の起源と歴史を探る）にも所収〕

語構成と形状言　一九九四年五月　「ことばとことのは」一〇集

複合形状言・派生形状言　一九九四年八月　「萬葉」一五〇号

助数詞被覆形の用法　一九九六年二月　『国語語彙史の研究』一四（和泉書院）

——名詞被覆形とク活用形容詞語幹とから——　一九九六年一〇月　「語文」（大阪大学）六五輯

形容詞語幹の一用法　一九九七年一〇月　『国語語彙史の研究』一六（和泉書院）

『日本語文法　体系と方法』（ひつじ書房）

一九九八年四月　佐藤武義氏編『萬葉集の世界とその展開』（白帝社）

——〜＋形容詞語幹の構成の複合形状言について——　一九九八年一〇月　『国語語彙史の研究』一七（和泉書院）
★カ型語幹の構成　一九九八年一二月　『国語論究』七　中古語の研究（明治書院）
★ヤカ型語幹とラカ型語幹　一九九九年三月　『国語語彙史の研究』一八（和泉書院）
★ヤク（ヤグ）・ラク（ラグ）　一九九九年三月　『森重先生喜寿記念ことばとことのは』（同）
★ラカ型語幹の構成　一九九九年一二月　『国語語彙史の研究』一九（同）
形容詞語幹の用法　二〇〇〇年三月　『井手至先生古稀記念論文集国語国文学藻』（同）
★カ・ヤカ・ラカ型語幹の語基　二〇〇〇年一〇月　『国語語彙史の研究』一九（同）
ラ接尾形とリ接尾形　二〇〇一年二月　西宮一民氏編『上代語と表記』（おうふう）
形容詞の形容動詞化と形容動詞の形容詞化　二〇〇一年三月　「語文」（大阪大学）七五・七六輯
★一次的ケシ型と二次的ケシ型　二〇〇一年八月　『国語語彙史の研究』二〇（和泉書院）
古典語の複合語　二〇〇一年一〇月　「日本語学」二〇巻九号
一音節語幹の形容詞　二〇〇二年一月　「萬葉」一七八号
形容詞ヒキシ・オホキイ等とその周辺　二〇〇二年三月　玉村文郎氏編『日本語学と言語学』（明治書院）
ク活用形容詞語幹を後項に持つ形容動詞語幹　二〇〇三年三月　『国語語彙史の研究』二一（和泉書院）
語幹を共通にする形容詞と形容動詞　二〇〇三年一一月　『同』二二（同）
動詞表記「敷」と形容詞語尾表記「敷」との間　『国語語彙史の研究』七（同）
——シク活用形容詞フトシ［太］の成立について——　二〇〇四年三月　『国語語彙史の研究』二三（同）
語基を共通にする形容詞と形容動詞　二〇〇四年三月　「美夫君志」六八号
上代の清濁と語彙
——オホ〜・オボ〜（イフ〜・イブ〜）を中心に——　二〇〇四年九月　「萬葉」一九〇号
ウマシクニソとウマシキクニソ
——ウマシ［シク活用］の問題から——　二〇〇五年三月　『国語文字史の研究』八（和泉書院）
一九六五〜一九七五年度頃の略字　二〇〇五年三月　『国語語彙史の研究』二四（同）
『長塚節歌集』の形容詞　二〇〇五年三月　「大阪大学大学院文学研究科紀要」四五巻1
形容詞スガシ（イ）［清］考

重複形容詞の周辺　二〇〇六年三月
促音・撥音の現代ローマ字表記　二〇〇六年四月
タテ［縦］・ヨコ［横］とその周辺　二〇〇六年六月
ト［利］をめぐる語群　二〇〇六年一二月
『日本唱歌集』の形容詞　二〇〇七年三月
上代特殊仮名遣に関わる語彙　二〇〇七年六月
ヲ［小］とコ［小］　二〇〇七年一一月
ト［門］とト［戸］とト［外］　二〇〇七年一一月
現代仮名遣いの長音表記　二〇〇七年一二月
語の変容と類推　――語形成における変形について――　二〇〇八年三月
〔二〇〇八年三月

テ［手］とその周辺　二〇〇八年一二月
『新編左千夫歌集』の形容詞　二〇〇九年三月
和名類聚抄地名の「部」　二〇〇九年五月
チ［路］とミチ［道］　二〇〇九年九月
メ［目］とその周辺　二〇〇九年一二月
二音節語基と形容詞語幹　二〇一〇年三月

『国語語彙史の研究』二五（和泉書院）
『国語文字史の研究』九（同）
「語文」（大阪大学）八六輯
「親和国文」四一号
『国語語彙史の研究』二六（和泉書院）[2]
「萬葉」一九八号
「國學院雑誌」一〇八巻一一号[2]
「京都語文」一四号
『国語文字史の研究』一〇（和泉書院）
『国語語彙史の研究』二七（同）[2]
大阪大学大学院文学研究科広域文化表現論講座　二〇〇五～二〇〇七年度共同研究報告書『テキストの生成と変容』にも所収）
「待兼山論叢　文学篇」四二号
『国語語彙史の研究』二八（和泉書院）[2]
『国語文字史の研究』一一（同）
『萬葉集研究』三〇集（塙書房）
「親和国文」四四号
『国語語彙史の研究』二九（和泉書院）

[1]は、二〇〇五年三月　二〇〇三～二〇〇四年度　科学研究費補助金　基盤研究（C）研究成果報告書『文献に現れた述語形式と国語史の不整合性について』にも所収
[2]は、二〇〇九年三月　二〇〇六～二〇〇九年度　科学研究費補助金　基盤研究（C）研究成果報告書『文献に現れた語彙・語法と国語史の不整合性について』にも所収
『国語学論説資料』（後に『日本語学論説資料』）にも所収のものがかなりあり、『国文学年次別論文集』上代にも所収のものが少しあるが、その一々を示すのは省略する。

〈索　引〉

上宮聖徳法王帝説仮名語彙索引

『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿（一）　一九八二年五月　「訓点語と訓点資料」六八輯

『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿（二）　一九八三年一月　「萬葉」一一二号

『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿（三）　一九八三年三月　「同」一一三号

『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿（四）　一九八三年一二月　「同」一一六号

『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿（五）　一九八四年一〇月　「同」一一九号

『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿（六）　一九八七年七月　「同」一二六号

『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿（七）　一九八八年二月　「同」一二八号

『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿（八）　一九九五年七月　「同」一五四号

『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿（九）　一九九五年一一月　「同」一五五号

『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿（十）　一九九八年一一月　「同」一六七号

『時代別国語大辞典上代編』語末索引稿（十一）　一九九九年三月　「同」一六八号

〈その他〉

『光村国語学習辞典』（編集協力および四〇〇項目執筆）　一九八三年一月　光村教育図書

特殊仮名遣（特集「万葉集を読むための研究事典」）　一九八五年一一月　「国文学解釈と教材の研究」三〇巻一一号

語彙（史的研究）（特集「昭和61・62年における国語学界の展望」）　一九八八年六月　「国語学」一五三号

〔書評〕工藤力男著『日本語史の諸相　工藤力男論考選』　二〇〇〇年一二月　「同」二〇三号〔五一巻三号〕

抄注・北原白秋第一詩集『邪宗門』語彙（企画および「アヲナリ・アヲニ／トホニ」「サミシラヤ」「ヒソニ」三項目執筆）　二〇〇五年三月　二〇〇三～二〇〇四年度 科学研究費補助金 基盤研究（C）研究成果報告書『文献に現れた述語形式と国語史の不整合性について』

池上禎造先生略歴ならびに著作目録　二〇〇六年一〇月　「日本語の研究」二巻四号〔「国語学」通巻二二七号〕

「池上禎造先生略歴ならびに著作目録」の訂正　二〇〇七年四月　「同」三巻二号〔「同」通巻二二九号〕

[書評] 犬飼隆著『木簡による日本語書記史』 二〇〇八年三月 「萬葉」二〇〇号

抄注・北原白秋第二詩集『思ひ出』語彙（企画および「ア サスズ」「メグシ（シク活用）」二項目執筆） 二〇〇九年三月 二〇〇六～二〇〇九年度 科学研究費補助金 基盤研究（C）研究成果報告書『文献に現れた語彙・語法と国語史の不整合性について』

『漢字キーワード事典』（「万葉仮名」「特殊仮名」「字音仮名」三項目執筆） 二〇〇九年五月 朝倉書店